



ほけんだより



2018年6月

やまと保育園

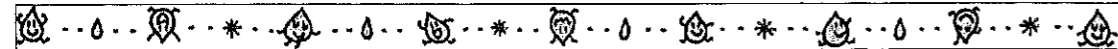
梅雨の季節は湿度・温度ともに高くなり、過ごしにくい時期です。体調を崩さないよう気を付けましょう。

<5月の罹患状況>

・感染性胃腸炎 7名 ※嘔吐・下痢が流行りました。

<6月の保健行事>

- ・歯科検診 6/6 (水) 全員 ※欠席の場合は、各自で受診をお願いしております。
- ・乳児健診 5日 (火) (0・1歳) ※囑託医の健診です。できるだけ登園願います。
- ・身体測定 28 (木) 0、1、2歳 29 (金) 3、4、5歳



6月4日は虫歯予防デーです

歯は健康な体をつくるためにとても大切な働きをしています。その中で乳歯は一生のうちのいたい10年間くらい使うものです。人の一生から考えるとあまり長くはかんじられないかもしれませんが、大切な働きをしています。

◎乳歯の大切な働き

<永久歯のみちしるべ> 乳歯の下には永久歯が育っています。乳歯は、永久歯が正しく生えるための道しるべになります。乳歯は生え変わるからとケアをおろそかにすることなく、虫歯をきちんと予防しましょう。

◎よくかんで食べると、いいことがいっぱい

- ★唾液がたくさん出ること、口の中を洗い流し虫歯をふせいでくれる役割があります。
- ★唾液に消化を助ける成分が含まれています。
- ★脳に満腹感が伝わり、食べ過ぎを防いで肥満の予防になります。
- ★あごが丈夫になって、歯並びやかみ合わせが良くなり顔の形が整っていきます。
- ★顔の周りの血管や神経が刺激されて、脳のはたらきが活発になります。



◎虫歯を防ぐ習慣を

- ★寝る直前に歯みがきをして下さい。寝ている時は唾液の量も減って虫歯になりやすい環境になります。夜のはみがきはゆっくり丁寧にみがきましょう。仕上げ磨きはかならず大人が行いましょう。
- ★炭酸飲料・甘い飲み物はできるだけ控えましょう。

虫よけ対策について

保育園では散歩や外出時に虫よけスプレーを付ける。室内や園庭では香取線香・お部屋用ペーパースプレー等を使用してできるだけ虫に刺されないよう配慮しております。虫よけスプレーは昨年からは厚生労働省が推奨しているイカリジンという成分のものを、散歩前に1回(午後の園庭遊びの前など)使用しています。登園時に刺されることもありますので、腫れやすいなど、気になる方はご自宅を出るときから虫よけ対策をされることをおすすめいたします。

虫にさされないようにするため、散歩時は連手の長袖カーディガン、長ズボンを着用をお願い致します。特に皮膚が弱く腫れやすい方は必ず長袖の服をご持参願います。

保育園での対策には限界があり、毎日の活動の中でやむおえず刺されてしまう事があります。何卒ご了承ください。

※虫よけパッチやシール・リング等の効力については「効き目があまりない」という見解や、紛失・誤飲等の問題もあるため、保育園での使用は禁止とさせていただいております。

虫に刺された時は、流水で患部を洗い流し、保冷剤などで刺された箇所を冷やしましょう。かゆみがひどいときはかゆみや炎症を抑える軟膏を使用し、症状がひどい場合は、悪化する前に皮膚科を受診しましょう。

～ プール開始にあたり注意とお願い ～

プールを介しての感染症が増えます。以下の内容をご確認ください。

・水いぼ…プールを介しての感染が多いと言われております。必ず水いぼが隠れる状態(長袖・長ズボンの着用)で入るようにお願いいたします。また、体中に増えている発赤・腫脹がある場合はプールに入ることができませんのでご了承ください。詳しい内容は保育園の掲示板をご覧ください。

・その他の皮膚トラブル…これからの季節、虫刺されやあせもなどで皮膚が炎症を起こし、伝染性膿痂疹(とびひ)のお子さんが増えます。伝染性膿痂疹(とびひ)と診断された場合は登園はNGです。治りまじたら登園許可証をお持ちください。気になる症状がある場合は、早めに治療をすすめてください。

・目のトラブル…目やにや充血が見られる場合はプールに入ること出来ません。※症状が見られた場合は、登園の前に必ず眼科の受診をお願い致します。また、感染力の強い流行性角結膜炎(はやり目)ではなくても、目のトラブルで治療中の場合、プールはご遠慮願います。